

第 101 回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

I. 日 時：2018 年 8 月 7 日（火）13 時 30 分～15 時 50 分

II. 場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室

III. 出席者：飯田（東電 HD）、西田（MHPS 長崎）、西野（配管技術研究協会）、芝（関西電力）、
松浦（中部電力）、服部（富士電機）、茂山（電中研）

代理者：なし

オブサーバー：なし

欠席者：太原（東芝）、豊嶋（MHPS 呉）、田村（MHPS 日立）、黒川（KHI）、関根（IHI）

事務局：原

IV. 配布資料

- 101-1 第 100 回構造分科会議事録（案）
- 101-2 構造分科会委員名簿
- 101-3 第 84 回火力専門委員会議事録（案）
- 101-4 第 86 回規格委員会議事録（案）
- 101-5 火力専門委員会書面投票 No.75(第Ⅱ章意見対応による修正案)結果報告
- 101-6 火力専門委員会書面投票 No.76(第Ⅲ章改訂提案)結果報告
- 101-7 規格委員会書面投票 No.399(第Ⅵ章改訂提案)結果報告
- 101-9-1-1 書面投票 No.76 の投票意見と対応案
- 101-9-1-2 第Ⅲ章提案資料 新旧対比表
- 101-9-1-参考 書面投票の意見対応を反映した修正案（新旧対比表）の書式例
- 101-12-1 新旧対比表（Ⅳ章 UF,UW）
- 101-13 審議履歴表

V. 議題

1. 前回議事録確認 [資料 101-1]
前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 分科会委員・役員の承認 [資料 101-2]
出席委員全員の賛成により、再任委員候補として太原委員を次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。また、互選により茂山委員が副主査に選任された。

3. 報告事項

- (1)火力専門委員会報告 [資料 101-3]
6 月 4 日開催の第 84 回火力専門委員会の主要項目が報告された。
○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。
○第 100 回(4/24)構造分科会報告
・2017 年追補、事例規格の JESC 本委員会審議結果報告。
・発電用火力設備規格 201X 年版 Ⅲ章の改訂提案資料の確認と火力専門委員会での改訂提案の承認。

○審議結果報告

- ・発電用火力設備規格詳細規定Ⅵ章 201X 年改訂案の火力専門委員会書面投票 No.74 の意見対応による修正について
- ・発電用火力設備規格詳細規定（201X 年版）第Ⅲ章 ボイラの改訂提案
- ・火力専門委員会書面投票 No.73（201X 年版改訂提案 第Ⅱ章材料）の書面投票意見対応による修正案について

(2)規格委員会報告

[資料 101-4]

6 月 14 日開催の第 86 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(6/4 開催) 報告
- ・発電用火力設備規格詳細規定（201X 年版）Ⅵ章 非破壊検査の改訂提案

(3)火力専門委員会書面投票 No.75 結果報告

[資料 101-5]

火力専門委員会書面投票 No.75(第Ⅱ章材料の意見対応による修正案)の火力専門委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が 2／3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。意見対応は完了。

(4)火力専門委員会書面投票 No.76 結果報告

[資料 101-6]

火力専門委員会書面投票 No.75(第Ⅲ章材料の改訂提案)の火力専門委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が 2／3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。現在、意見対応中。

(5)発電用設備委員会書面投票 No.399 結果報告

[資料 101-7]

発電用設備委員会書面投票 No.399 (第Ⅵ章非破壊検査の改訂提案)の書面投票結果が報告された。賛成票が 2／3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。現在、意見対応中。

4. 審議事項

(1)用語集の確認

新たな追記・変更箇所はなかった。

(2)火力専門委員会書面投票 No.76 (第Ⅲ章ボイラ)の意見対応

[資料 101-9-1]

各委員が担当箇所の対応案を 8 月 17 日（金）までに確認して、確認結果を分科会三役に連絡する。本件は、主査が別途メールにて各委員に依頼する。

書面投票 No.76 の投票意見と対応案に関する確認事項、気付き事項は以下のとおり。

○意見 No.128

- ・数値と単位記号との間への空白の挿入は半角スペースとする。

○意見 No.42

- ・「その場合にも」の意味が不明確なので、「作動している場合にも」などに見直す。

○書面投票の意見対応を反映した新旧対比表修正案の書式の確認

資料101-9-参考により、意見対応を反映した新旧対比表修正案の書式を確認した。

- ・意見対応を反映した修正箇所は、当初の書面投票提案の改訂箇所（赤字・下線）と区別できるよう、改訂前後とも青字・下線、改訂内容を青字とする。また、吹き出しなどで、どの意見No.の対応による修正か分かるようにする。（資料101-9-参考のP26のとおり。）
- ・半角スペースの挿入など修正箇所が多数ある場合は、最初の箇所だけ該当する意見No.が分かるようにして、以後は省略する。

○書面投票の意見対応には、技術的な内容を含む修正があるため、意見対応を反映した修正案について、次の火力専門委員会（9/14）において再書面投票を提案する。

■今後の進め方の確認

- ①各委員が8月17日（金）までに担当箇所の対応案を確認して、確認結果を分科会三役に連絡する。
 - ②8月20日（月）に、ご意見者へ対応案を回答（再意見があれば、もう1ターンの意見対応を実施）
 - ③8月末を目途に意見対応を完了
 - ④各委員が9月12日（水）までに意見対応を反映して修正した新旧対比表資料を作成。
 - ⑤9月14日（金）の火力専門委員会に修正案の再投票を提案。
- 上記について、主査がメールで各委員に連絡する。

(3)新旧対比表の確認

1)IV章 PART UF、UW（中部電力）

[資料101-12-1]

松浦委員が資料を説明し、審議を行った。コメント等は以下のとおり。

○UF-5(c)

- ・改訂前の654に下線を引く。
- ・ASME改訂内容の反映の該当箇所を確認する。

○UF-5(c)(2)

「140MPaを超える値で上廻らないこと」…表現を見直す。

○UF-27

- ・ASME改訂内容の反映の該当箇所を確認する。

○UF-27、UF-31、UF-32、UF-37

同じタイトルが何度も出てくるものは、2度目以降を削除する。

○UF-31(b)(1)(b)

- ・3.447は、下線が引いてあることが分かるよう、小数点だけでなく数字全体に下線を引く。また、改正前の箇所にも下線を引く。
- ・改訂内容に、ASME SI値採用を追記する。

○UF-32(b)(1), UF32(b)(2)

項が抜けているところに、項を追記する。

○UF-43

- ・改訂内容に「表現の見直し」を追記する。

○UW-48

- ・「、」 → 「, 」
- ・「評価する」 → 「確認する」。(assure なので)

○UW-50

- ・改訂内容に、ASME SI 値採用を追記する。

○UW-51(b)

- ・改訂案の25mmの「25」に下線を引く。

5. 次回開催予定

開催日時： 11月8日(木) 13時30分～17時

場 所：日本機械学会 3・4会議室

以 上